

名義後援事業終了報告

- 1、事業名 親子かんきょうエコチャレンジ教室
- 2、実施期日 平成19年11月17日(土)10:00~13:00
- 3、実施場所 仙台市岩切小学校 体育館ほか
- 4、実施主体 NPO法人 みやぎ環境カウンセラー協会
仙台市立岩切小学校父母教師会

5、実施内容

当協会及び仙台市岩切小学校父母教師会とで主催し、杜の都市民環境教育・学習推進会議からの資金助成を受けた事業で、食物連鎖、物質循環から「空」「水」「土」「緑」「ゴミ」「リサイクル」など環境問題を「環境屋台」をコンセプトとし、それぞれの屋台間に父母教師会の出展する屋台で繋ぐ協働事業によって、学区内住民に地球環境問題を訴えた。

6、参加人員 約 500人

7、所見

今回の事業は、仙台市岩切小学校父母教師会(以下PTA)から当会に協働の提案があったあまり例のないケースであっただけに当会としても本気で取り組んだ。

PTA内部の連携の良さは、あまり慣れていないであろう斯様なイベントにも、役員一同総力を挙げて成功させようとの底力には敬服した。また、周辺からの協力にもすばらしいものがあった。例を挙げると、会場のディスプレイを引き受けていただいた岩切児童館の先生方、参加景品「マイバッグ」の提供依頼に走り回った社会学級の皆さん方など、本イベントのみを評価すれば、成功と言いたい。

しかし、当会としては同事業の今後の展開への思いを含めて評価すると、まず、PTA側の校内行事としての活動と、私共の本イベントを基点として今後への展開を意識しての取組みとには、夫々の思いに聊かの隙間風を感じないでもなかったし、それを先読みして、PTAを説き伏せてまで「市制だより」に学区外から小学生親子30組を募集もしたが、その応募状況には、惨憺たるモノがあり、この反省は、再チャレンジのチャンスを待つしかない。

つまり、学区内の現場に居合わせた人々にはそれなりの評価を頂けたと思うが、外部への展開につなげる期待度はかなり低かったと判断せざるを得ない。また、テーマ「親子かんきょうエコチャレンジ教室」にも一工夫の必要を感じた。

